

〔報告〕 展示公開施設の館内環境調査報告

—平成18年度—

吉田 直人・佐野 千絵・石崎 武志

1. はじめに

保存科学部では、博物館・美術館などの文化財公開施設において、借用などの移動を伴う文化財などの展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術学芸課と協力して行っている。その調査については以前述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに、その規模や施工時期などについて、予め定まったフォーマットに従って整理している。平成5年度～16年度についてはすでに報告したので²⁻¹⁴⁾、ここでは平成18年度に行った館内環境調査に関して概括する。集計方法などは既報と同じである。相談件数およびその経時変化、相談館の地域分布、開催時期、借用計画をたてた時期、コンクリート打設完了から開館までの期間について図示する(図1～6)。また、平成18年度に報告書を書いた35館の基礎データを表1に記す。

表1 調査館の基礎データ

No.	着工	コンクリート 打設完了	竣工	開館	借用時期	延べ床面積 (m ²)	展示面積 (m ²)	収蔵庫面積 (m ²)	博・美	運営団体
1	2002.10.01	2004.12.20頃	2005.09.20	2006.07.13	2006.09-12.	16,355.0	2,990	979	美	県
2	1998.11.08	1999.11.	2000.11.25	2001.10.06	2007.04-05.	13,000	3,187	1,213	美	市
3	2005.07.05*	1987.12.	2005.08.05*	1988.11.29	所有指定品収蔵	545.3	228.5	51	博	市
4	1999.03.10	2000.03.30	2000.12.01	2001.10.26	2006.12-2007.04.	6,856.5	1,593.1	627.7	美	県
5	2005.11.11	2006.05.26	2007.07.31	2007.10.14	所有指定品収蔵	28,200	9,600	2,300	博	財団
6	2002.07.14	2004.04.	2006.05.31	2007.01.21	2007.07-09.	48,000	14,000	425	博	国
7	2004.10.01		2005.06.	2005.10.08	2006.11-12.	2,865	914	483	美	財団
8	2006.07.01		2007.01.15	2007.04.01(使用開始)	所有指定品収蔵	2,200	920	570	美	財団
9	1991.08.26		1994.08.31	1995.01.22	2007.03-05.	7,500	1,522	522	美	財団
10	2004.05.	2006.06.	2006.12.31	2007.03.30	2007.09-10.	4,500	1,050	150	美	会社
11	2000.02.02	2001.01.	2002.06.30	2002.10.25	2006.03.27-07.30	1,363			博	財団
12	2001.10.27	2003.10.31	2004.02.28	2004.04.01	2006.10-12.	25,852	755	443	博	学校
13	1996.03.01	1997.05末	1997.09.30	1998.04.24	2007.01-03.	1,499.7	456.8	106.4	美	市
14	2005.04.01	2005.09.30	2006.03.25	2007.01.01	2006.12-2007.02.	647.6	293.4		収蔵庫は別棟	その他
15	1992.11.	1993.10.08	1994.03.20	1995.01.18	2006.10-12.	3,014.1	1,065.8	173.2	博	町
16	2002.11.18	2003.08.29(収蔵庫・展示室)	2004.05.31	2005.10.15	2007.01.	8,760	2,764	1,474	博	県
17	1999.01.	2000.09.	2001.09.30	2002.04.21	2006.11-2007.01.	7,742	2,521	706	美	市
18	1991.04.12	1992.06.15	1993.03.25	1993.05.01	2006.09-11.	3,524.9	1,818.3	620.8	博	市
19	2001.01.		2001.10.	2003.03.	2005.07-09.	950			博	市
20	2004.12.01	2005.07.30	2006.03.31	2006.10.16	所有指定品収蔵	433	119	174	博	その他
21	2000.09.28	2001.07.	2002.04.04.	2002.10.20	2006.10-11.	1,679			博	市
22	2000.03.30	2001.06.05	2001.10.13	2003.10.13	2006.10-11.	2,280.7	291.4	329.2	博	学校法人
23	2005.05.27	2005.11末	2006.03.09	2006.04.01	所有指定品収蔵	1,576	-	219	博	大学
24	2001.06.15	2001.09.	2003.03.15	2003.03.28	2006.10-11.	2,134	412	465	博	市
25	2004.06.01	2004.09.30	2005.03.26	2005.03.26	2006.07-09.	1,451	538	171	博	市
26	2004.10.01	2005.06.30	2006.06.01	2006.06.01	所有指定品収蔵	1,500	374	372	博	市
27	1991.10.	1993.01.	1994.03.	1994.07.08.	2006.09-10.	11,837.9	2,581.7	1,028.1	美	県
28	2004.02.10	2004.06.23	2005.01.20	2005.10.06	2006.07-08.	1,316	360	360	博	町
29	2004.01.		2005.12.	2007.03.10	2007.03-05.(借用) 2006.11-2007.03.(文化庁よ り委託収蔵)	9,051.5	2,820.7	2,005.4	博	県
30	2002.10.		2004.10.	2005.10.08	2006.07-08.	18,000	2,002	711	美	県
31	2002.07.	2003.03.	2003.01.	2004.11.11	2006.04-06.	4,267.5	1,043	432	博	市
32	2001.12.	2003.01.	2004.02.	2004.10.29	2006.10-2006.11.	4,119	1,108		博	市
33	1999.07.	2000.04.	2001.04.	2002.11.02	2005.11-12.	15,991	6,100		博	市
34	2003.03.20	2004.02.	2004.09.30	2005.04.23	2007.05-07.	9,876	2,995	783	美	県
35			2006.12.07	2007.02.18	2007.02-03.03.-04.				美	市(海外)

*) 収蔵庫の新設

**）改修部分

*) は改築、**) は改修に関するデータ

2. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。昨年同様、博物館・美術館の新設件数は少なくなった。相談件数は、前年度より150件ほど多い898件であった。

相談館の地域分布は、関東、中部、近畿地方の公開施設が多かった（図2）。

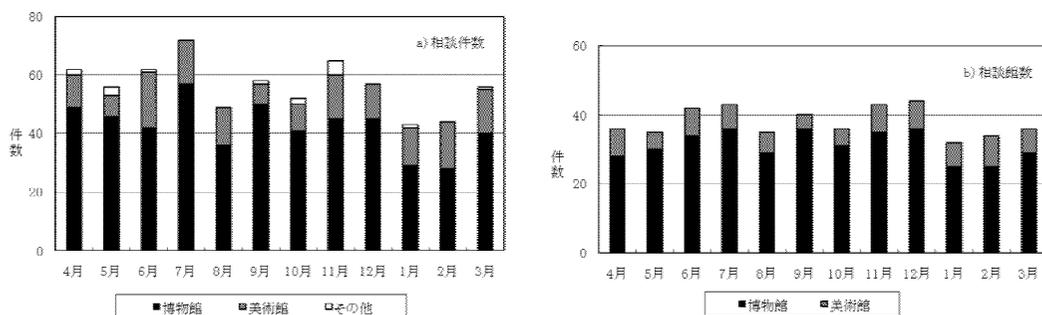


図1 保存環境に関する相談件数（平成18年度）

a) 相談件数

b) 相談館数

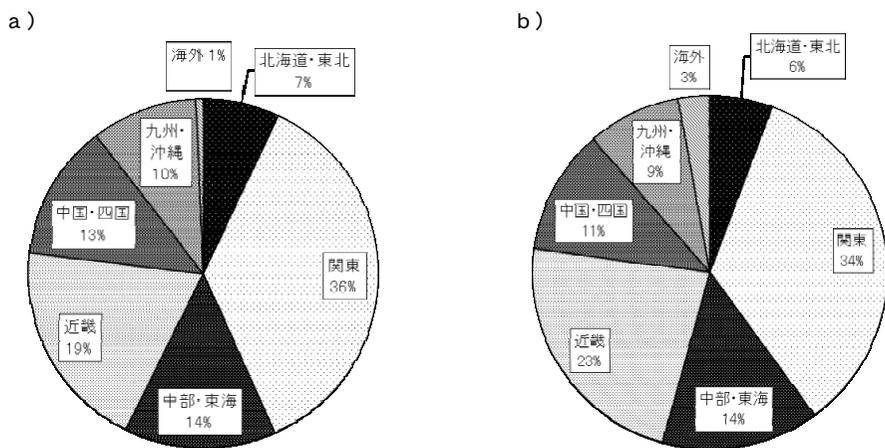


図2 相談館の地域分布（平成18年度）

a) 相談館全体の地域分布

b) 平成18年度館内環境調査報告書提出館35館の地域分布

3. 平成18年度館内環境調査報告書提出館35カ所の傾向

借用時期は、開館から6ヶ月以内の施設が全体の14%、7ヶ月から1年以内のものが11%であり、開館から1年以内の指定品展示に関する環境調査が25%であった（図3）。竣工から開館までの期間は、前年度は平均10.3ヶ月であったが、今年は7.0ヶ月であった（図4）。開館時期については、例年は4月が多いが、平成18年度は10月、次いで4月に多かった。（図5）。コンクリートの打設完了時期から開館まで、短い館では約7ヶ月、長い館では31ヶ月であり、平均では16ヶ月であった（図6）。

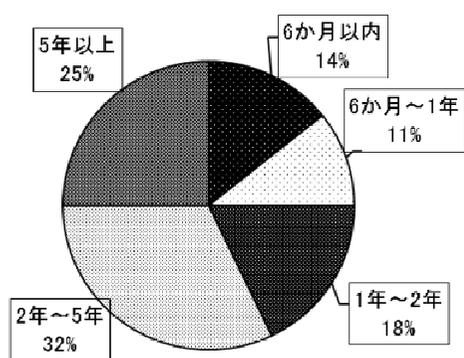


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

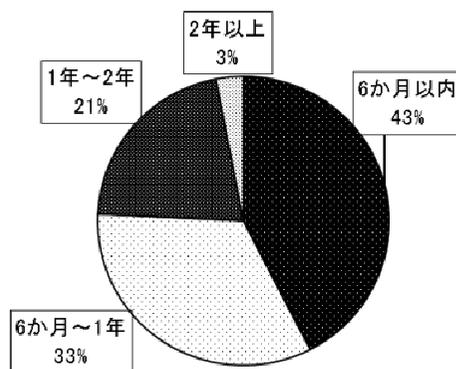


図4 竣工から開館までの期間

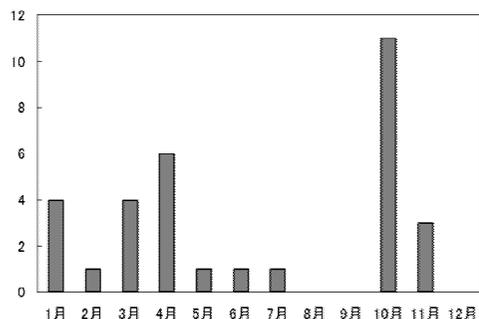


図5 平成18年度館内環境調査報告書提出館の開館月

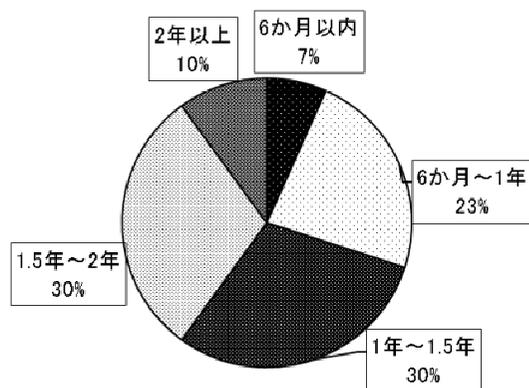


図6 コンクリート打設完了から開館までの期間

4. 考察

平成18年度は、環境調査報告書提出館のうち、過去1年間に開館したものが全体の25%で、5年以上経過した館も25%であった。これに対して前年度は、過去1年間に開館した館が4割弱、5年以上経過した館も3割近くであった。ここ数年と同様、開館後なるべく早い時期に指定品を借用・展示したいという要望は多く、なるべく短期間に、展示室、収蔵庫の空気環境を正確に測定することなどへの要請が多かった。しかしながら、館によって多少の差異はあるものの、展示室、収蔵庫内の酸、アルカリ環境は2夏を経ないと中性にならない場合が多いので、十分かつ適切に空気環境をチェックする必要がある。

5. さいごに

2004年末の臭化メチル全廃から早くも3年が経過した。これまで実施した研修などにより、できる限り薬剤に頼らない文化財害虫の予防法である総合的虫害管理（IPM）の理念や方法も保存担当学芸員の間にかかなり浸透し、実践例も増えている。

東京文化財研究所保存修復科学センターでは今後も、文化財保存施設での環境管理に関する問題点などを現場の声からすくい上げ、その解決策を研究し、広く公表する所存ですので、請

躊躇することなくご相談いただければ幸いです。

謝辞

本報告の作成にあたり、データ整理を行って頂いた内藤百合子氏に深く御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 三浦定俊, 佐野千絵, 石川陸郎: 新設博物館・美術館における保存環境調査の実際, 月刊文化財 (平成5年4月号), 355, 34-42 (1993)
- 2) 佐野千絵, 三浦定俊: 国指定文化財公開施設のシーズニングについてー平成5年度展示施設の館内環境調査からー, 月刊文化財 (平成7年9月号), 384, 4-11 (1995)
- 3) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成6年度ー, 保存科学, 35, 74-79 (1996)
- 4) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成7年度ー, 保存科学, 36, 98-103 (1997)
- 5) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成8年度ー, 保存科学, 37, 153-157 (1998)
- 6) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成9年度ー, 保存科学, 38, 187-191 (1999)
- 7) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成10年度ー, 保存科学, 39, 87-90 (2000)
- 8) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成11年度ー, 保存科学, 40, 136-140 (2001)
- 9) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成12年度ー, 保存科学, 41, 157-161 (2002)
- 10) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成13年度ー, 保存科学, 42, 123-127 (2003)
- 11) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成14年度ー, 保存科学, 43, 113-117 (2004)
- 12) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成15年度ー, 保存科学, 44, 173-177 (2005)
- 13) 吉田直人, 佐野千絵, 石崎武志: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成16年度ー, 保存科学, 45, 277-281 (2006)
- 14) 吉田直人, 佐野千絵, 石崎武志: 展示公開施設の館内環境調査報告ー平成17年度ー, 保存科学, 46, 327-331 (2007)

キーワード: 博物館 (museum) ; 館内環境 (environmental condition) ; 空気環境 (indoor air pollution) ; 温湿度 (temperature and relative humidity)

Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 2006

Naoto YOSHIDA, Chie SANO and Takeshi ISHIZAKI

The National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (Bunkacho) advises museums on how they should design their facilities to provide adequate environment for the exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows the results of inspection in 2006. The number of advice given was 898 in 2006. Results of inspection were reported to 35 museums for their exhibition.

